



# 学校だより

No.3 7月号

令和3年6月30日

横浜市立洋光台第四小学校

～ 手を取りあい ぐんぐんのびる しんめの子 ～

ホームページもご覧ください。www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/yokodai4

## 人や物と直に関わることの大切さを…

児童支援専任 竹内 智子

右の写真、本校の八の字池のスイレンの花です。

最近、毎朝涼しげな花びらを開かせ子どもたちを迎えてくれます。日増しに熱くなるこの時期に、ホッと朝の洋四小の光景の1つです。



5月末、2年ぶりに全校遠足が実施されました。今年度は、今の世の中の状況を踏まえ、「密にならず、でも楽しい活動を！」と、1～6年生が縦割り班になり、「校庭」「洋光台南公園」「はまぎんこども宇宙科学館」の3カ所で活動をしながら回り、給食までに戻ってきました。

様々な配慮をしながらの活動ではありましたが、久しぶりの校外での活動、しかも違う学年の友達と一緒に回ることは一人ひとりにとって新鮮なものであったようです。いつも見慣れた洋光台の街で、素敵な表情がいくつも見られました。普段はあまり校庭で見かけない高学年児童が1年生を追いかけて楽しそうに走る姿、班のメンバーで相談しながら先生から出されたお題に取り組む姿、リーダーとしてプレッシャーを感じながらもお手本となって頑張ろうとする6年生と甘える1年生…どれも、子ども同士が直に関わったからこそ現れた姿です。

また、今年度は初めての試みとして、5、6年生を対象に「情報モラル」の出前授業（専門の方にご指導いただく授業）をオンラインで実施しました。画面の向こうの講師の先生に対し、子どもたちは「自分たちがどのように映るのか」「相手にどんなタイミングで返事をしたらよいのか」と戸惑う様子がありましたが、学習を進めていく中で、「情報モラル」だけではなくオンライン学習の学び方そのものを体感していたようでした。画面の向こうの人と関わるには、直接対面するときよりもさらに相手の様子を見てタイミングを計っていく必要があることを学ぶことができました。

新しい生活習慣が定着していくと共に、学び方のスタイルもますます変化しています。オンライン授業を通しての学びは、直接会うことができない人や物との関わりを可能にし、子どもたちの視野をさらに広げていくことに繋がります。でもそれだけでは心は育たず、時代が変わっても大切にしたいのは、やはり直接的な人との関わりではないでしょうか。毎日子どもたちと会い、ちょっとした表情の変化を見ていく私達教職員にとって、子どもとの直接的な関わりは、なくてはならないものです。そして子どもたちにとって、直接的な人や物と触れ合い友達と一緒に過ごすからこそ「楽しい」と感じられる学校でありたいと願っています。

夏休みまであと1ヶ月、子どもたちとの関わりを大事にしながら各学年学習のまとめに入っていきます。引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。